

第73回“社会を明るくする運動” 標語コンクール表彰式



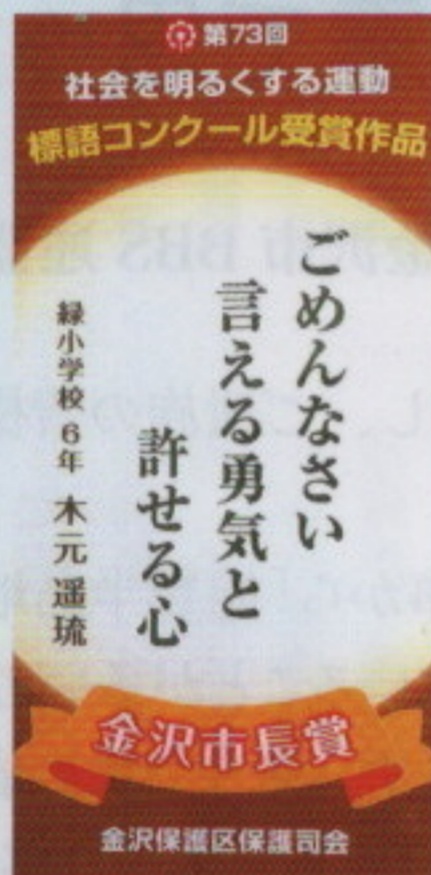
第73回 “社会を明るくする運動” 標語コンクール受賞作品

金沢保護区保護司会では、“社会を明るくする運動”の行事の一環として、市内の小学5・6年生(原則6年生)から標語を募集しています。今年度も、52校から昨年度を上回る3838点の応募をいただき、ありがとうございました。また、12月21日(木)には、石川県地場産業振興センターにおいて、各賞を受賞された方々の表彰式が行われました。

【金沢市長賞】

緑小学校6年

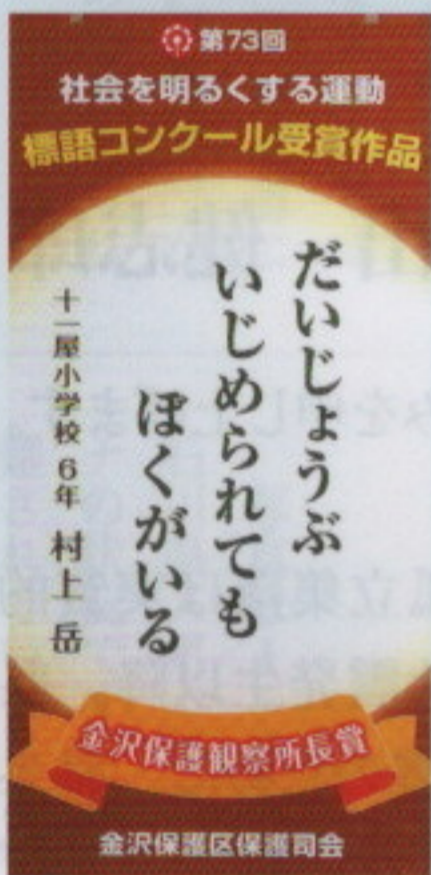
木元 遥琉



【金沢保護観察所長賞】

十一屋小学校6年

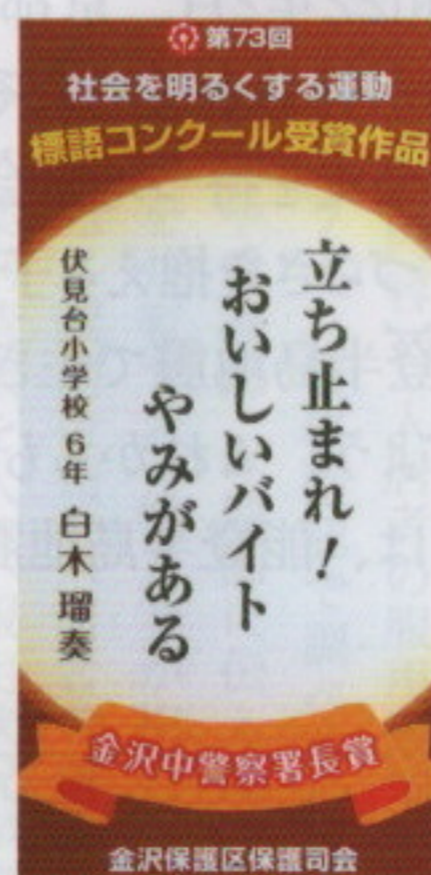
村上 岳



【金沢中警察署長賞】

伏見台小学校6年

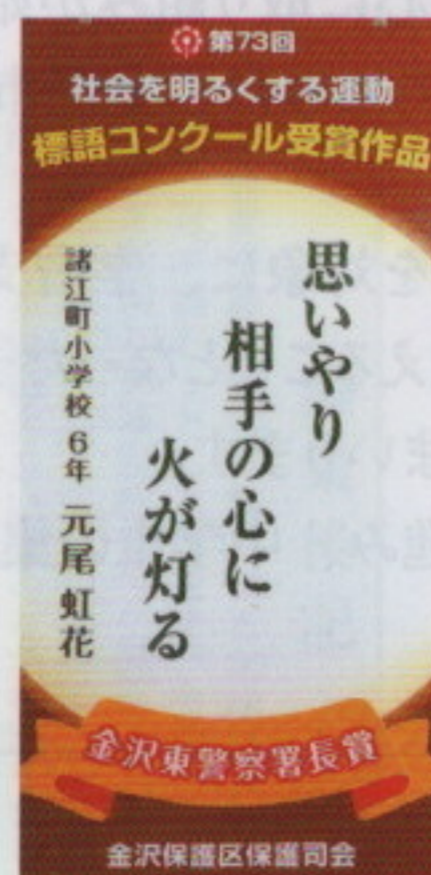
白木 瑠奏



【金沢東警察署長賞】

諸江町小学校6年

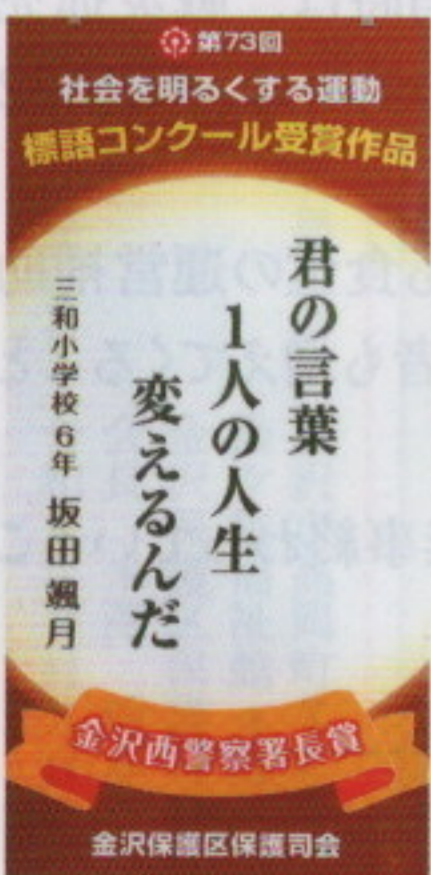
元尾 虹花



【金沢西警察署長賞】

三和小学校6年

坂田 颯月



【金沢保護区】

保護司会長賞

思いやり 持てば持つほど
幸せに

朝霧台小学校5年 杉原 花

やめようね そのあやまちが
いじめとなる

浅野川小学校6年 小林 美空

傍観者 勇気を出して
止めようよ

浅野町小学校6年 竹中 万葉

言葉の矢 君の一言
残る傷

栗崎小学校6年 吉村 優花

温かい やさしい言葉は
宝箱

泉小学校6年 亀田 光理

おはようで つながる心
世界の輪

泉野小学校5年 福見 希音

明るくて やさしいあの子
あこがれる

内川小学校6年 松本 蒼里

勇気出し 自分を変えると
相手も変わる

扇台小学校6年 越田 在

あいさつで 明るい笑顔が
花ひらく

大浦小学校6年 林 芽南

ありがとう 心にのこる
おまじない

大野町小学校6年 山本 瑠美奈

一声で 笑顔の花咲く
ありがとう

押野小学校5年 片山 葉那

笑顔咲く まほうの言葉
ありがとう

金石町小学校6年 宮野 莉実

その言葉 どう伝わるか
考えた?

金沢大学人間社会学域
学校教育学類附属小学校6年 齋藤 理沙

大丈夫? ひとこと声かけ
助かる心

木曳野小学校6年 泉 樹吹

いじめとね 戦う君は
ヒーローだ

鞍月小学校6年 中川 紗来

君たちが にじむ世界を
虹色に

兼六小学校6年 中村 愛那

「思いやり」 未来を照らす
第一歩

小坂小学校6年 鳥山 夏蓮

君の手に 犯罪とめる
カギがある

小立野小学校5年 近藤 龍桜

言葉とは 感情もった
ブーメラン

犀桜小学校6年 岩城 徹昇

がんばれる きみの未来は
もうそこだ

四十万小学校6年 蔭浦 宙

いじめはね みてみぬふりも
その一つ

十一屋小学校6年 島本 蒼唯

「おはよう!」の 君の笑顔が
うつったの

新神田小学校6年 松本 夏月

ありがとう 優しい言葉
宝物

西南部小学校6年 中村 玲唯

スマホより 周りを見る目
大切に

大徳小学校6年 石橋 太一

友達と 笑顔のリレー
つなげよう

田上小学校5年 福本 昊呀

思いやり みんなの笑顔
増えてゆく

千坂小学校6年 小倉 夕奈

正しさを 自分の胸に
問う勇氣

中央小学校6年 堀田 光霸

強い意思 世界を変える
第一歩

戸板小学校6年 山岡 葵

見てるだけ 自分はちがう
本当に?

富樫小学校6年 櫛田 りおん

あいさつで 笑顔はなかく
町になる

長坂台小学校5年 加治 愛莉

あいさつは 世界共通
エチケット

長田町小学校6年 飛田さくら



優しい言葉 心もみんなも

幸せに

中村町小学校6年 山田 美寿

ありがとう いじめを止める

君の声

西小学校6年 高瀬 翔宇

気を付けよう 本当にいいのか

その言葉

額小学校6年 雪 拳斗

君はいじめをとめることができる

できる

花園小学校6年 荒井 彪伽

犯罪は「すいません」では

ゆるされない

馬場小学校6年 下田 凌央

ゴミひろう 心が未来を

輝かす

伏見台小学校6年 山下 紗奈

ありがとう 心のこもった

言葉だよ

不動寺小学校6年 白鳥 誠人

いじめはね 遊びじゃないよ

悪いこと

三谷小学校5年 奥野 智規

自分から 優しい声かけ

ありがとう

緑小学校6年 河合 優奈

いじめはね 君たちだけが

とめられる

南小立野小学校5年 不破 光里

助け「あい」 支え「あい」が

人の愛

三和小学校6年 北澗 瑠菜

あいさつで 笑顔つながる

社会の輪

三馬小学校6年 檜原 玲佳

あいさつは 暗い心に

照る太陽

明成小学校6年 池野 鹿子

あいさつで 初めの一步

ふみ出そう

杜の里小学校6年 國松 成美

いやなこと 止めてあげよう

君の手で

森本小学校6年 前 ゆずき

「いじめだよ」 言える勇氣と

思いやり

森山町小学校6年 岡谷 夢伽

犯罪を 未然に防ぐ

近所の目

諸江町小学校6年 加藤 真椰

かけあおう やさしい言葉

お互いに

安原小学校6年 北川 椋太

信じよう きみの心の

やさしさを

夕日寺小学校6年 額 大侑

思いやり 人との縁を

つなぐ糸

米泉小学校6年 山田 愛夏

「やめようよ」 その言葉から

変わってく

米丸小学校6年 清水 汐夏



金沢矯正展

令和5年9月16日(土)、金沢刑務所において4年ぶりに「金沢矯正展」が開催されました。当日は猛暑の中、金沢保護区保護司会から、地域活動推進部会のメンバーを中心に「焼鳥」と「フランクフルト」のブースを担当しました。多くのお客様に訪れていただき、盛況のうちに終えることができました。



北陸三県都地区
保護司会意見交換会

北分区 二木 克明

令和5年11月16日(木)、金沢市のKKRホテルにて、福井、富山、金沢の各県都の保護司会が集まって、標記の意見交換会が開かれました。

これは、令和4年に初めて福井で開催され、今回は第2回目になります。当日は、福井から10名、富山から10名、金沢から14名、合計34名の保護司が集まりました。

意見交換の内容としては、(1)保護司の適任者確保のための取組、(2)社会を明るくする運動“効果的な広報活動、(3)更生保護に関する地域援助という3つのテーマを取り上げ、3グループに分かれて各地の状況等について意見交換を行いました。

私が参加したのは、社明運動の効果的広報活動についてでした。福井からは、福井市役所と緊密な連携をとって、



ゴミ収集車で広報活動をしているほか、各町内会から募金を集めているとのことでした。また、福井市近郊の郡部(吉田郡)では、保護司会、更生保護女性会及び

BBSが共同して活動しており、全小中学校で給食時間にアピールする時間をとってもらっているとのことでした。

また富山については、市の広報誌に更生保護コーナーを設置してもらっているほか、富山市のHPにも掲載してもらっているが、自治体で熱の入れ方が大分違うなどの報告がありました。

その後で全体で各グループの協議結果の報告がありました。地域によりやり方が相当異なっており、金沢のやり方ももっともつと改善の余地があることがわかったいい機会となりました。



大阪での意見交換会と
市街散策

南西分区 中村 健二

10月20日(金)・21日(金)と研修旅行に参加しました。今年は大阪北区保護司会との意見交換会です。大阪市北区は大阪の玄関口に位置し、区の中心地JR大阪駅周辺には百貨店、ホテル、飲食店が集まり賑わいの多いところです。

会場の更生保護施設「和衷会」で、金沢保護司会の概要説明の後、北区保護司会中原副会長より話を伺いました。「最近では北区への人口流入が多く、いろいろなケースを51名の保護司で対処している。事件数は減少傾向でありたいが、保護司補充が思うようにいかない。対象者の立ち直りには『かわりを多く持つ事が大切』と熱く語られました。『和衷会』入居者100名余りの就労支援にも熱心な様子が見てとれ、スマホ情報を利用したアルバイト、パートでの勤務も最近の特徴だそうです。

縷々議事討議の後、米澤会長が「伺ったお話を今後の活動の糧にしたい。また、今夜のタイガースの必勝を祈念いたします」と挨拶し、おいとましました。(同夜タイガースはCS戦を制しました)翌日は、地元ガイドさんの案内で通天閣界隈を巡りました。並ぶ庶民的な

お店の中で射的、スマートボール、大きな碁会所を見つけ、昭和のノスタルジアを感じました。

立派な大阪城も遠くに見えました。「口では大阪の城も建つ」とよく言われますが、秀吉中国大返しのように「まず動く」が肝要との思いも新たに、大阪市を後にしました。

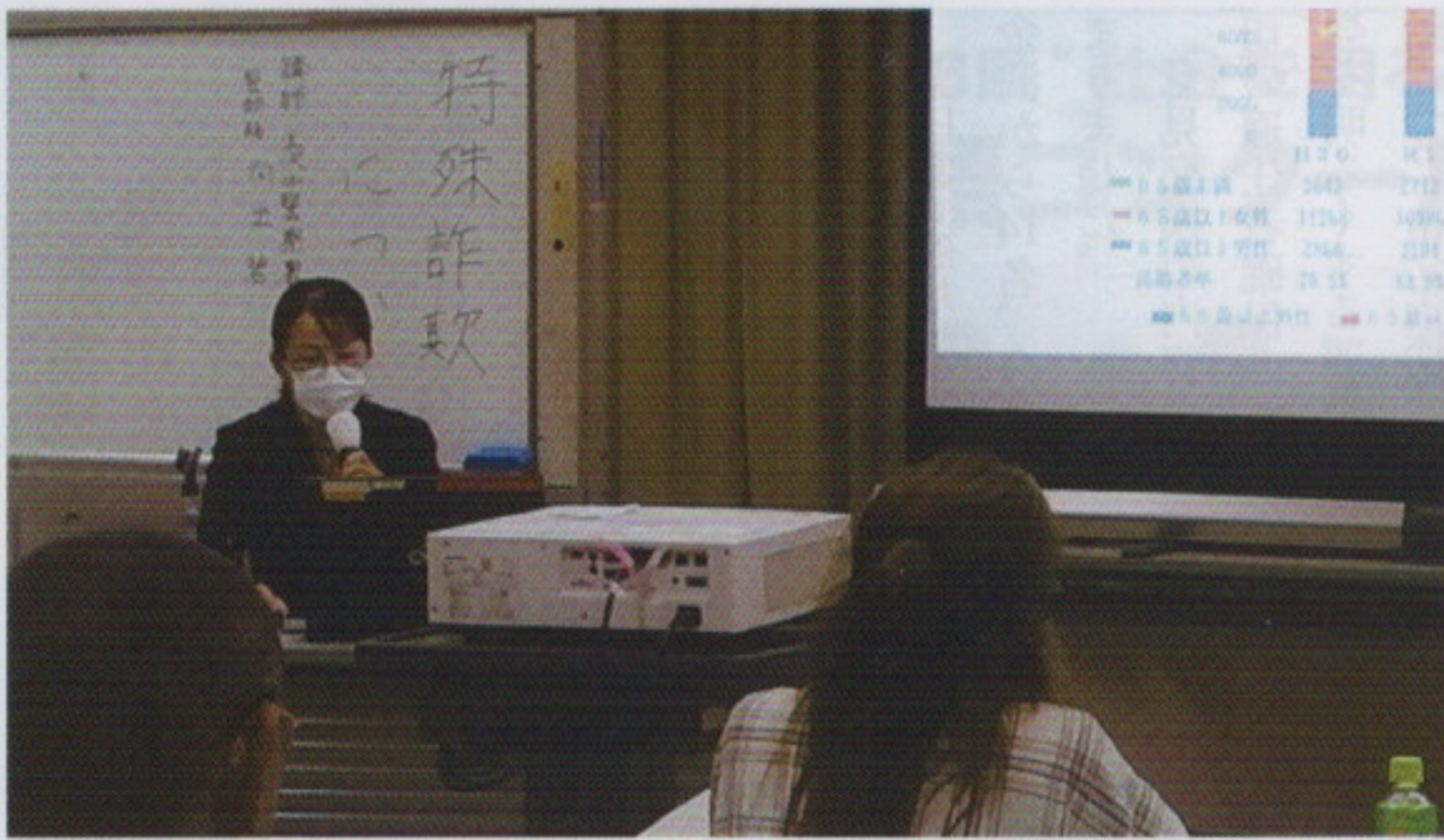


自主研修会「特殊詐欺」

西分区 北形 正美

11月21日(火)、自主研修会が開催されました。テーマはオレオレ詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺などのいわゆる「特殊詐欺」。金沢中警察署生活安全課の向出警部補からお話を聞きました。

石川県の犯罪の実態、息子や孫などの親族を名乗る電話や、警察官や金融機関等職員を名乗る巧妙な手口。そして、ルフィーなどの名前で知られる闇バイト



の実態などの説明もありました。

新聞やテレビのニュースなど毎日のように被害が報道されているにもかかわらず、同じような手口でだまされる人が後を絶ちません。高齢者が圧倒的に多い。認知症などの影響も中にはあるでしょうが、往々にして一人さみしく暮らす高齢者は、「還付金がありますよ...」電話口のささやきがひとときのなぐさめになっていくとしたら? : 明日は我が身! かもしれません。

SNS等の「高額報酬」との誘いに乗り「闇バイト」に引き込まれていく事例です。犯行グループは巧みに入手した個人情報をもとに少年たちを執拗に脅迫し、恐怖心を植えつけることで犯行に引き込んでゆきます。我々保護司仲間がそうした少年たちを保護観察対象者として受け持つケースも幾つかあることでしょう。途中だれか大人や警察に相談できたらと、とても残念に思います。質問させていただきました...「相談して解決できることをもつと大々的に報道することができないものでしょうか?」 「機会あるごとに中学校や高校などに出向き頻繁に訴えています。皆様方の地域でも、そのことを発信する機会があればぜひお願いします(お力をかしてください)」とお答えをいただきました。どこかに頼ればという安易な気持ちではなく、自分たちが身近なところで地道に発信することが肝要。まさに「地域力」が要請されていることを改めて教えられたように思いました。

能登半島地震救助活動



南西分区 松平 博之

(石川県救助犬協会連合会会長)

元旦の発災直後、石川県救助犬協会の派遣部隊を招集し10時間半かけて輪島市災害対策本部に到着。統合幕僚本部に参加し、情報収集。国内4チームへ派遣要請。輪島市内捜索開始。広域緊急援助隊と、三井町興徳寺及び市ノ瀬地区土砂災害現場において捜索。反応個所で救助隊に引き継ぐ。能登広域での出動要請あり、複数の現場にて捜索。以後も車中泊し現地に駐屯し捜索に従事。以来2月以後もご遺体の捜索に従事、10数回の派遣出動し捜索活動継続中です。

南東分区 伊藤 昭一

(薬剤師)

写真は1・5次避難所として開設した石川県スポーツセンターのメインアリーナの状況です。ピーク時は260人が避難されていました。2月19日現在96人

に減りました。簡易テントで30日以上暮らしている方が35人います。その方々は段ボールベッドで寝ていますが、ここにも一歩入ると被災地の様相です。



【業務内容】 入居者の服用薬剤情報をオンライン資格確認で調べて、診療所医師や看護師・保健師に伝え処方元の情報を共有する。処方箋が出たら近くの薬局に調剤依頼。入居者の個人カルテに薬剤情報を入れ、服用状況が悪い方はお薬カレンダーで管理する。その他、看護師や保健師からの薬剤についての相談を受ける。

編集後記

能登半島地震に見舞われた年明けからは2ヶ月が経とうとしています。金沢でも震度5強を観測し多数の避難所が開設されました。今回の地震で、「備えの大切さ」と「近所の助け合い」が重要だということがわかりました。まだまだ復旧の道のは険しいですが、前向きに故郷のためにがんばる被害者の方々は頭が下がる思いと、今、自分たちは何ができるのか考え悩む日々です。

北分区 松田 晃江

発行者 金沢市高岡町7-25

松ヶ枝福祉館4階

金沢保護区保護司会

会長 米澤 明孝

発行日 令和6年3月31日